

樂美術館事業計画要旨（案）

平成24年度

期間 2012年4月1日（日）～ 2013年3月31日（日）

事業計画要旨

この法人は、京都発祥の陶芸である樂焼陶芸作品を中心に、その他の日本陶芸作品及び古美術品、歴史的資料、古窯の公開活用、ならびに保存・修復を行い、新資料の収集充実をはかると共に、樂焼をはじめとする日本陶芸・茶道工芸美術等の調査研究を広く行い、もって文化の振興・普及・教育に寄与することを目的とする。上記設立趣旨に添い下記の公益事業を推進する。

平成24年度事業計画概要

I 作品・資料の公開活用、保存・修復、作品資料の収集事業

1) 作品資料公開活用事業

1) 当館開催展

春期 特別展 樂歴代の名品 秘蔵の長次郎を見る

夏期 親子で見る展覧会 シリーズ樂ってなんだろう展

秋期 特別展 工芸 肌をめです。

新春 樂歴代と春の取り合わせ（仮称）

2) 手に触れる美術館事業（見るだけでなく実際に手に触れて作品を鑑賞する）

特別鑑賞茶会

手にふれる樂茶碗鑑賞会

親子でお茶一服

5月5日実施 2013年3月予定。

親子で見る展覧会 解説とワークショップ 8月5日（日）実施

3) 館外協力事業

佐川美術館

「樂吉左衛門 襲名30周年記念 17歳の初造りから今日までの自選茶碗展」

サブタイトル

「僕は初めてこの茶碗一つを作って、家を出た」折々を語るエッセイや詩を添えて

（同時記念出版「ちゃわんや」淡交社刊より）

2) 保存修復事業春期展

1) 館蔵作品の保管修理を行う。

3) 作品資料収集

1) 作品購入 予定作品 長次郎作 黒樂茶碗 万代屋黒 万代屋宗安所持 1口

II 樂焼、その他日本陶芸、茶道工芸美術の調査研究・資料図書刊行・閲覧事業

1) インターネット上での樂焼の解説、歴史概説の掲載閲覧を充実させる。

2) 樂焼の概説、作品を紹介する「樂歴代図録」を発行する。

3) 低火度鉛釉の調査研究を昨年度に引き続き行う。

III 学校・社会教育への協力を行い、文化・教育振興・普及事業

1) 夏期展 親子で見る展覧会として 「シリーズ 樂ってなんだろう展」を開催する。

2) 親子で見る展覧会 解説とワークショップを開催する。

3) 親子でお茶体験、樂茶碗を手に触れて鑑賞する「親子でお茶一服」を開催する。

4) 生涯学習事業に積極的に協力する。

5) 地域文化の向上に努める。

館展示事業

展示事業1 春期特別展 樂歴代の名品 秘蔵の長次郎を見る 平成24年3月10日(土)～6月24日(日)

サブタイトル 利休所持・利休の婿 万代屋宗安伝来 黒樂茶碗「万代屋黒」

春期特別展では、初代長次郎から15代吉左衛門まで、樂歴代の代表作を一堂に展観。特に本展では、利休の娘婿である万代屋宗安所持の知られざる名碗、長次郎作黒樂茶碗「万代屋黒」と本願寺伝来として名高い道入作黒樂茶碗「唐衣」の秘蔵2作を特別初公開する。

展示事業2 親子で見る展覧会 シリーズ樂ってなんだろう 平成24年6月30日(土)～9月2日(日)

サブタイトル 季節を感じよう!! 夏祭りと茶の湯

人は自然と共に過ごし、自然から様々な恩恵を得てきました。しかし自然は人の考えを遙かに超えた大きな世界。時には災害などの災いをももたらします。

茶の湯はそうした自然と人との関係を調和の心を持って見つめてきました。そうした茶の湯のあり方を、樂歴代の作品を中心にした取り合わせの中に感じてみましょう。

展示事業3 秋期特別展 工芸 肌をめぐる。 平成24年9月8日(土)～12月24(月・祝)

サブタイトル 樂茶碗の陶肌 芦屋・大西・京釜の鉄肌 一閑・宗哲の漆肌

樂歴代の作品と芦屋釜や大西家を中心とした京釜、飛来一閑家、中村宗哲家の漆芸作品を展観しながら茶の湯にはぐくまれた質感・素材の美学を追究展示します。

展示事業4 新春展 樂歴代 初の節会(仮称) 平成25年1月6日(土)～3月3日(日)

新春、春に因んだ道具組を当館所蔵の作品の中から取り合わせる。

展示事業5 注 新春展終了後は歴代展を行う 平成25年3月9日(土)～6月30日(日)

未定

手に触れる美術館事業

展示ケースごしの展観ではなく、作品、資料を実際に手に触れて鑑賞する「手に触れる美術館構想」を促進してきた。今年度は以下の4事業を行う。

- | | | |
|------------------------|---------------------------------|-----|
| 1. 特別鑑賞茶会 | 5月 6月 7月 9月 10月 12月 2月 3月に1回行う。 | 年8回 |
| 2. 手にふれる樂茶碗鑑賞会 | 毎月一回土曜日または日曜日に行う。 | |
| 3. 親子でお茶一服 | 5月5日(こどもの日)、2013年3月予定 | 年2回 |
| 4. 親子で見る展覧会 解説とワークショップ | 8月5日 午前・午後2回開催 | 年1回 |

他の美術館との協力事業

1. 他美術館と協力し、共同展覧会、共同研究を積極的に行い、共同体制をつくり上げる。
2. 公益財団法人・佐川美術館の展示、美術館活動に協力する。
3. 今出川通・日本画茶の湯美術館連絡会（堂本印象美術館、茶道資料館、北村美術館、橋本関雪記念館、当館）と密接に協力活動を行う。
4. 海外美術館との協力関係を深める。

その他の美術館との共催・協力事業計画

1. 樂吉左衛門襲名30周年記念展 初造りから現在まで作陶の遍歴を追う 会場 佐川美術館
記念出版本「ちゃわんや」（淡交社刊）掲載より自伝エッセイと共に

期間 平成24年4月14日（土）～9月23日（日）

事業主体 主催 佐川美術館 協賛・協力 樂美術館

内容 樂吉左衛門の作陶30周年を記念する展覧会。樂美術館が協力企画した記念出版「ちゃわんや」に基づき初造りから今日までの作品を自伝的エッセイと共に展示。

その他の公開活用事業

- 1) インターネット上での作品資料公開活用事業の充実を計る。特に当館ホームページにおいて、収蔵品の画像による一般公開の充実を図る。
- 2) ビデオ・コンピュータシステムなどによる視聴覚設備の利用を充実させ、来館者への公開活用・研究を行う。
今年度はコンピュータを新規購入する。
IPadなどの機器による画像サービスの可能性を考える。